

第1回山口県緩和ケアチーム研修会報告書

山口大学医学部附属病院
緩和ケアセンター事務局

開催概要

開催日時：平成30年8月25日（土）10:30～16:00

開催場所：山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階多目的室1

共催：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター 山口県健康福祉部医療政策課

参加施設：国立病院機構岩国医療センター

山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院

地域医療機能推進機構徳山中央病院

山口県立総合医療センター

国立病院機構山口宇部医療センター

山口県済生会下関総合病院

医誠会都志見病院

山口県厚生農業協同組合連合会長門総合病院

山口大学医学部附属病院

受講者数：41名（医師9名、看護師18名、薬剤師4名、管理栄養士1名、MSW1名、事務職員8名）

プログラム

開会挨拶 山口県健康福祉部医療政策課 主幹 松本 哲也

10:30～12:00 特別講演

「我が国のがん対策と今後の課題、緩和ケアに関するPDCAサイクル確保を目的としたピアレビューの取り組み」

国立がん研究センターがん対策情報センター 加藤 雅志先生

12:00～12:45 休憩

12:45～14:15 PDCAサイクル確保についての検討

14:15～14:25 休憩

14:25～15:55 ピアレビューの実施に向けての検討

「こんなピアレビューは嫌だ」 KJ法・グループワーク

閉会挨拶 山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 助教 山縣裕史

16:00 閉会

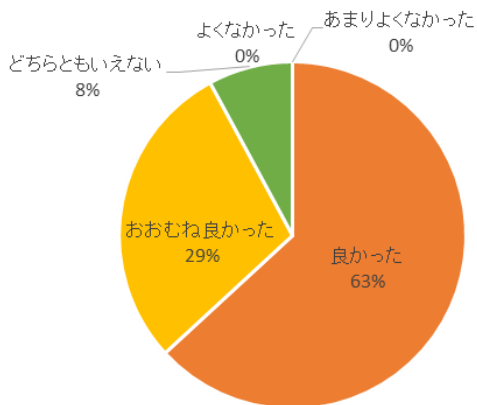
研修会の様子



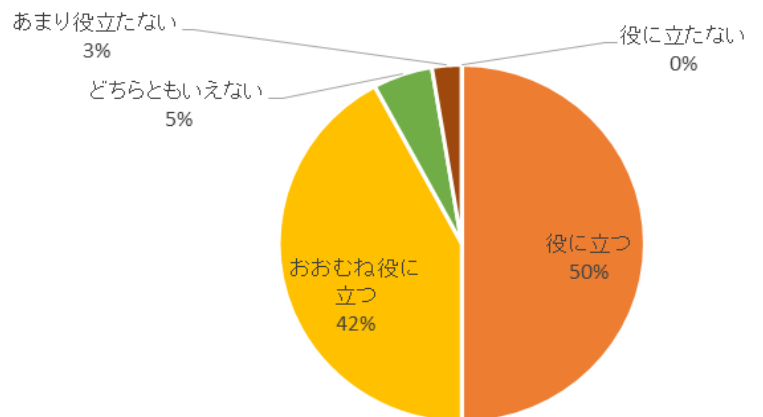


アンケート

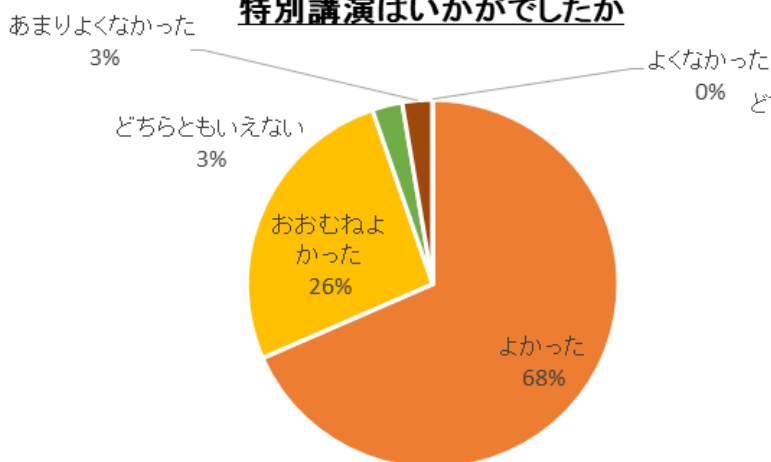
この研修会に参加してよかったですか？



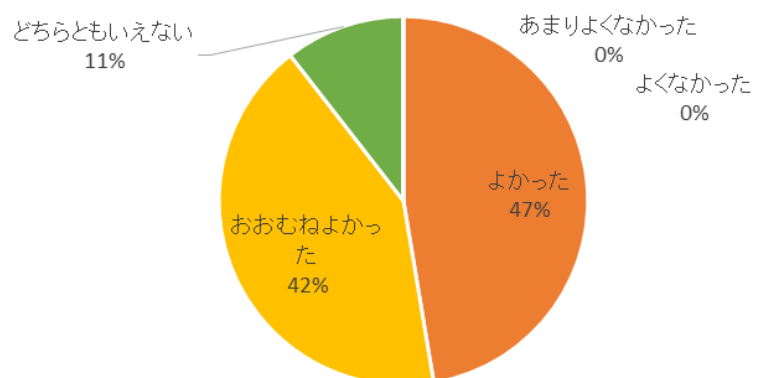
この研修会で得たことは今後の緩和ケアチーム・緩和ケア病棟での活動に役立ちますか？



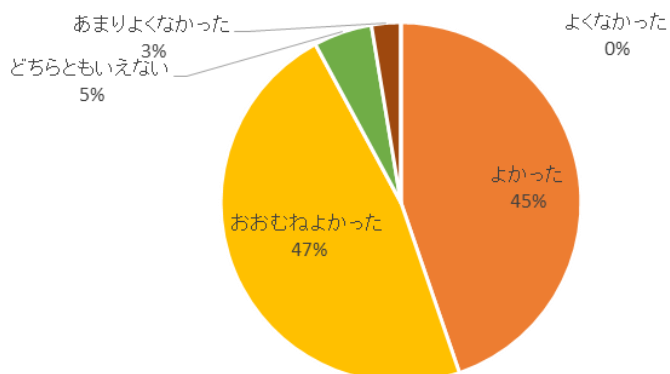
特別講演はいかがでしたか



「PDCAサイクル確保についての検討」はいかがでしたか？



「ピアレビューに向けての検討」はいかがでしたか？



緩和ケアチーム研修会で取り上げてほしいテーマや内容についてお聞かせください

- ・ 非がん、小児
- ・ 質の改善も大事であるが、まずは指定要件を最低限満たしておくことも大事なため、負担軽減や標準化のための研修会を開催してほしい。
- ・ 診療報酬算定について（工夫などの共有も含め）。
- ・ 地域の連携について具体的な方法。
- ・ 各病院で困っている事。
- ・ 非がんの緩和ケアについて。
- ・ 各病院での具体的な問題点等の検討。
- ・ レスキュー薬自己管理について。
- ・ 県の政策、各地域病院に求めている事。
- ・ 在宅連携の実際について、在宅連携を行うにあたり各地域での問題点や検討、解決策。
- ・ 各チームの具体的な活動内容報告。
- ・ 繰り返し聞きたいです。
- ・ 非がん患者への対応。
- ・

緩和ケアチーム研修会のご感想や、ご要望についてお聞かせください

- ・ 病院ごとにPDCAサイクルの検討ができてよかったです。日頃は院内のスタッフで話せる機会がないので、貴重な機会になりました。
- ・ グループワークの人数が多いと感じた。しかし、他施設との顔の見える関係ができてよかった。
- ・ 多職種の交流は非常に有意義である。
- ・ チームとして参加する初めての研修で大変有意義なものでした。今回のようにチー

ムで多職種で行う研修を今後も行ってほしいです。

- ・人数に対して会場がやや狭かった。
- ・多職種と話し合うことがとても意義のあることだと思いました。
- ・緩和薬物療法認定の単位取得できれば助かります。
- ・緩和ケア部会のメンバーだけでなく、他施設や多職種で検討したり意見や情報を共有できてよかった。
- ・今日のように顔の見える関係をいろいろな方法で継続していけたらと思います。
- ・どうなるか不安が大きかったですが、何をしたらいいのか少し見えてきました。
- ・他施設の方々とグループワークができて、県内の従事者の方々と顔の見える関係に一步近づけたのがよかった。
- ・年一回あるといいです。
- ・ピアレビューについての理解ができ、実施に向けてのイメージがつかめてよかったです。
- ・最後のグループワークは人数が多い。もう少し少なくてもよいかも。